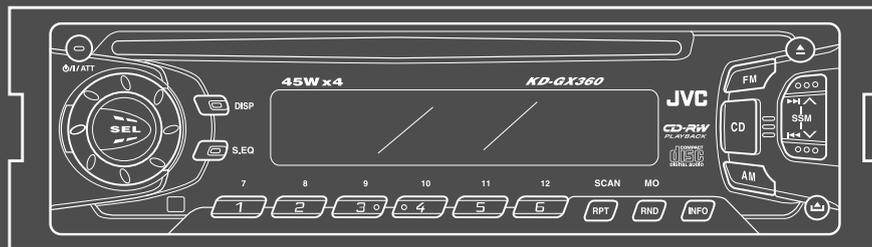


## 取扱説明書

# JVC

# KD-GX360

## CDレシーバー



COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

— お買い上げありがとうございます —

**!** 使用前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GET0048-001A

# 目次

- 主な特長……………2
- 安全上のご注意……………3～7
- 正しくお使いいただくために……………8～9
- 各部の名前と働き……………10～13
- リモコン(RM-RK41:別売り)の使いかた……………14～15
- 時計の合わせかた……………16
- 音量・音質の調節……………17～19
- CDを聞く……………20～22
- ラジオを聞く……………23～25
- レベルメーターの表示切換え……………26
- コントロールパネルの着脱……………27
- 故障かな?と思う前に……………28
- 保証書とアフターサービス……………29
- 主な仕様……………30
- お手入れ……………31

# 主な特長

- 直接CDが出し入れできるCDプレーヤー
  - ・ダイレクト選曲
  - ・ランダム演奏/リピート演奏
  - ・8センチCD対応(アダプターなしでダイレクトイン)
- CD-R/CD-RW対応
  - ・音楽用のCDフォーマットで記録したディスク
- 高音質1ビットDAC(D/Aコンバーター)
- ダイレクトソース(音源)切換
  - ・ラジオやCDの演奏がワンタッチでスタート(電源を入れることも可能)
- 最大出力45W×4chハイパワーアンプ内蔵
- SSM搭載チューナー
  - ストロングステーションメモリー
  - ・HS-II(高感度)チューナー
  - ・FM放送に限りSSMによる放送局のメモリーが可能
  - ・24局プリセット(FM⇒6局×2,AM⇒6局×2)
  - ・アンテナリモート機能
  - インフォメーション
  - ・交通情報が聞けるINFOボタン
- S.EQ LINK(シンプリイコライザー)機能
  - ・ビート、ソフトおよびポップサウンドの音楽がソース(音源)ごとにメモリー
- プリアウト1系統(RCAピン)
- リモコン(RM-RK41:別売り)対応

# 安全上のご注意

—はじめにお読みください—

## 絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### ●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

# 安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

## 警告

■本機はDC12V マイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

■配線作業中は、バッテリーの<sup>マイナス</sup>端子のコードを外してください。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

■本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。



・交通事故やけがの原因となります。

■車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



・交通事故や火災の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・事故の原因となります。



## 警告

- コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しないでください。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

- 自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

# 安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

## ⚠ 注意

### ■本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

### ■必ず付属の部品を指定通り使用してください。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけが・故障の原因となることがあります。

### ■雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

### ■振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取り付けは避けてください。



・外れて事故やけがの原因となることがあります。

### ■本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

### ■本機を不安定なところに取り付けしないでください。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

### ■正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

### ■車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。



・断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。



・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。



・ 感電やけがの原因となることがあります。

- ディスク挿入口に異物を入れないでください。



・ 火災や感電・故障の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。



・ けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

# 正しくお使いいただくために

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり45W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。  
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL\*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

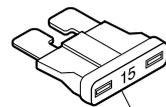
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの<sup>マイナス</sup>側が車の金属部に接続されていたり、<sup>プラス</sup>側同士が接続されていると故障の原因になります。

\*BTL：Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

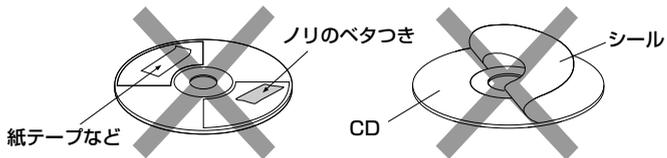
本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

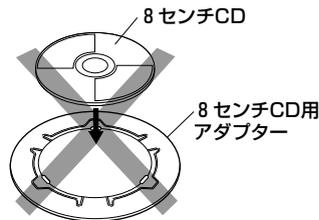
## CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**  
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。
- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**  
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- **記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。**  
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

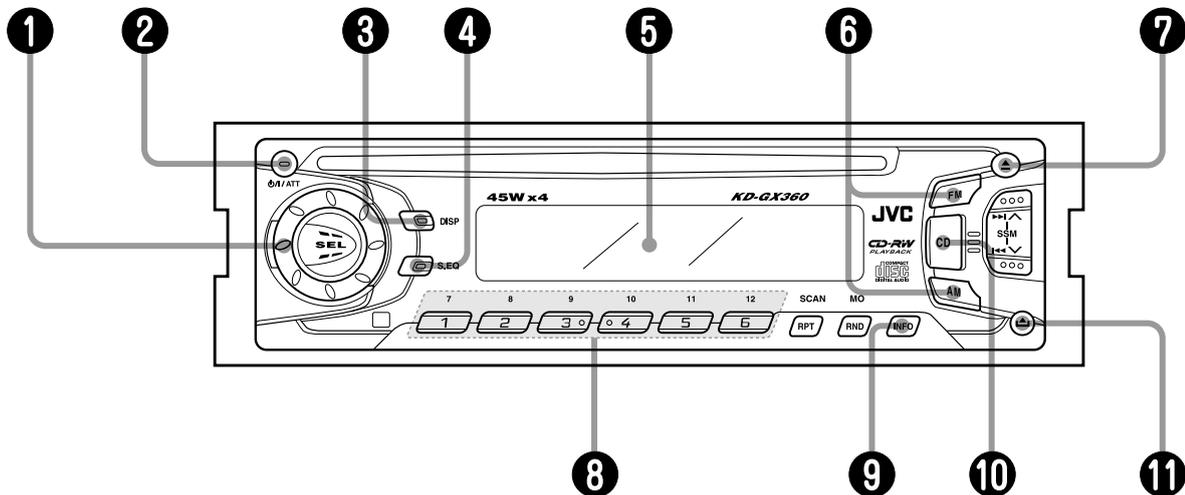


- **ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。**  
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。**  
8センチCDは、そのまま挿入してください。



# 各部の名前と働き



## 1 回転ボリューム

ボリュームレベルが調節できます。

→17ページ参照

## 2 アッテネーター 電源の「入」/「切」/ATTボタン

電源の「入」↔「切」や音量を一時的に下げることができます。

→16ページ参照

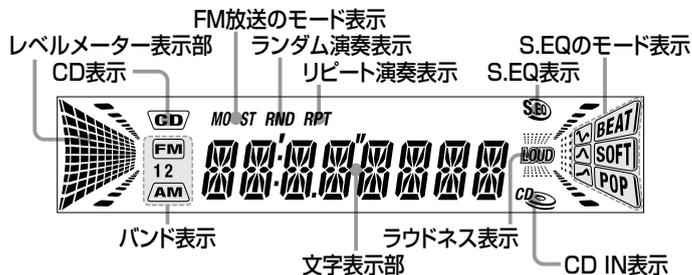
## 3 ディスプレイ DISPボタン

表示窓の表示を変えると使います。  
押すごとに「ソース(音源)表示↔時刻表示」が選べます。

## 4 シフト・イコライザー S.EQボタン

聞きたい音楽に合わせて音質を選びます。→18ページ参照

## 5 表示窓



・演奏時間やバンド表示、周波数表示などの部分を文字表示部といいます。

## 6 FMとAMボタン

ソース(音源)を「ラジオ」にしたり、FMとAMの聞きたいバンドを選ぶとき使います。→23ページ参照  
電源を入れることもできます。  
押すごとにFMボタンはFM1⇄FM2、AMボタンはAM1⇄AM2と交互に変わります。

## 7 ▲(ディスク取出し)ボタン

CDを取り出すとき使います。→20ページ参照  
CDボタンを押したまま▲(ディスク取出し)ボタンを押すと、CDの盗難防止ができます。→21ページ参照

## 8 <sup>7</sup>1 ~ <sup>12</sup>6 ボタン

### ●「ラジオ」のとき：プリセットボタン

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM(FM1×6局、FM2×6局)、AM(AM1×6局、AM2×6局)の24局がメモリーできます。→25ページ参照

### ●「CD」のとき：曲番号ボタン

聞きたい曲をダイレクトに選ぶとき使います。→21ページ参照

## 9 インフォメーション INFOボタン

道路交通情報(AM1, 620kHz)を聞くとき使います。  
→25ページ参照

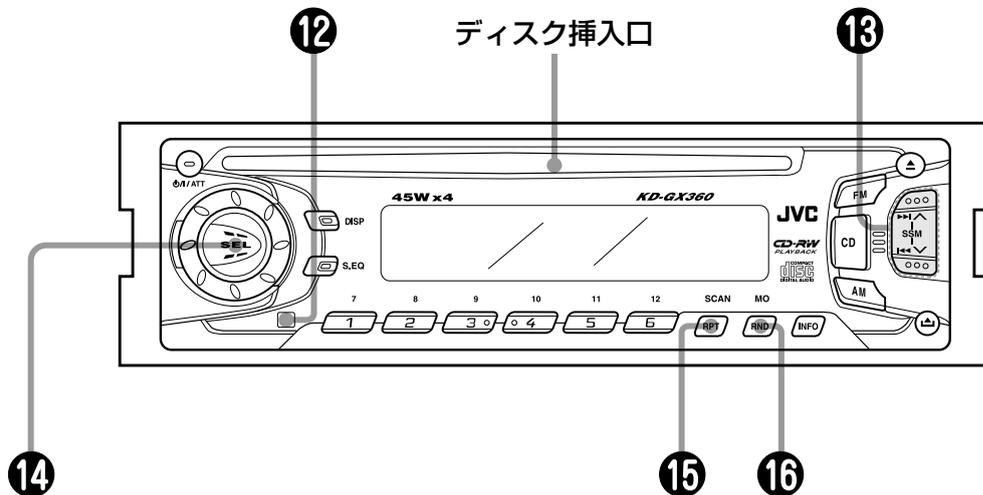
## 10 CDボタン

ソース(音源)を「CD」にするとき使います。CDが入っていないとき押すと、「NO DISC」が表示されます。電源を入れることもできます。→20ページ参照

## 11 コントロールパネル取り出しボタン(▲)

コントロールパネルを外すとき押します。→27ページ参照

# 各部の名前と働き(つづき)



## 12 リモコン受光部

別売りのリモコン(RM-RK41)の信号をここで受信します。

→14ページ参照

## 13 ●「ラジオ」のとき：選局ボタン(∨、∧)/SSMボタン

放送局を選局するとき使います。→24ページ参照

∨と∧ボタンの中央を2秒以上押しと、電波状態の良いFM放送の放送局を、自動的にプリセットボタンにメモリーすることができます(SSM)。→24ページ参照

## ●「CD」のとき：|◀◀、▶▶|ボタン

曲の頭出しや早送り、早戻しに使います。

→22ページ参照

## 14 <sup>セレクト</sup>SELボタン

音量・音質調節のモードが選べます。押すごとに



と変わります。→171ページ参照

- 2秒以上押すと、お買い上げ時は「CLOCK H」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき▶▶I(またはI◀◀)ボタンを押すと、下記のモードが選べます。例は▶▶Iボタンを押したときです。I◀◀ボタンでは逆に変わります。次から選んだモードが優先的に表示されます。



## 15 • 「ラジオ」のとき : <sup>スキャン</sup>SCANボタン

スキャン選局ができます。→241ページ参照

## • 「CD」のとき : <sup>リピート</sup>RPTボタン

演奏中の曲をくり返して聞くことができます(リピート演奏)。→221ページ参照

## 16 • 「ラジオ」のとき : <sup>モノラル</sup>MOボタン

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき使います。  
→241ページ参照

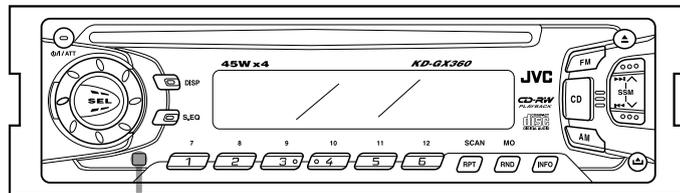
## • 「CD」のとき : <sup>ランダム</sup>RNDボタン

CDに収録されている順番に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます(ランダム演奏)。→221ページ参照

# リモコン(RM-RK41 : 別売り)の使いかた

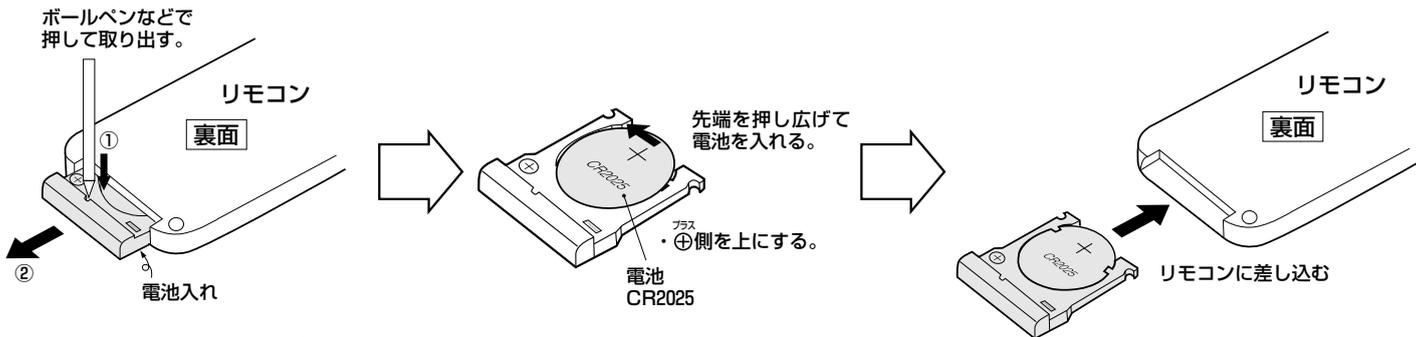
## リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。



リモコン受光部

## 電池の入れかた



## ● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

## 各部の名前と働き

### 電源/ATTボタン

1秒以上押しと電源の「入」↔「切」ができます。「ボン」と押しと音量を一時的に下げることができます。

### ディスク/バンド DISC+/BANDボタン

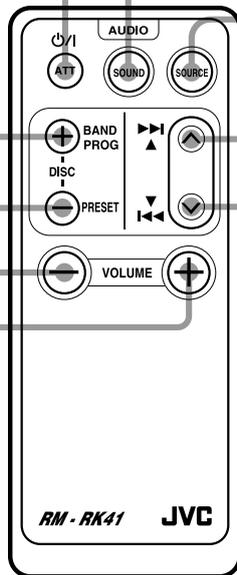
- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。  
(DISCとPROGの機能はありません)

### プリセット DISC-/PRESETボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(1ch～6ch)の選局ができます(プリセット選局)。  
(DISC機能はありません)

### ボリューム VOLUME+、-(音量)ボタン

- 音量の調節ができます。
- ・+：音量が上がります。
  - ・-：音量が下がります。



### サウンド SOUNDボタン(S.EQボタンと共通)

聞きたい音楽に合わせて音質を選びます。本体のS.EQボタンと同じ働きをします。

### ソース SOURCEボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。押しごとに

FM → CD → AM

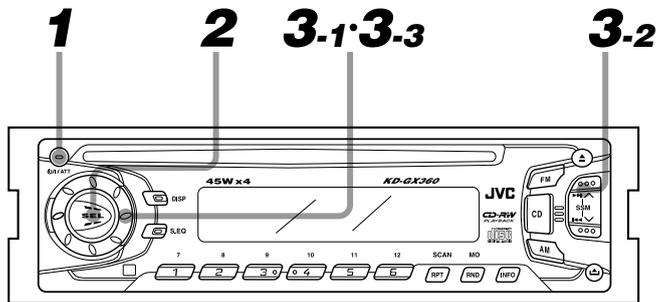
と変わります。ただし本体にCDが入っていないときは、FM ↔ AMのみになります。

### ▲、▼ボタン

- ・「ラジオ」のとき：選局(自動選局)ができます。
- ・「CD」のとき：曲の頭出しや早送り、早戻しができます。  
(▲と▼の機能はありません)

# 時計の合わせかた

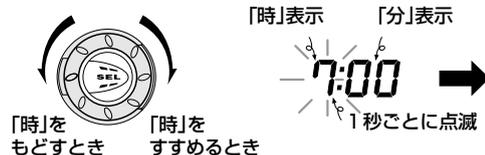
— 本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。 —



## 3 回転ボリュームと▶▶Iボタンで現在時刻に合わせる(時刻表示点滅中に操作します)

例：7時30分に合わせるとき(12時間表示方式です)

### 3-1 「時」を合わせる



### 3-2 「CLOCK H」を表示させる

### 3-3 「分」を合わせる



- ・ 時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のソース(音源)表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ボン」と押します。
- ・ 使用中に時刻表示にしたいときは、DISPボタンを押します。
- ・ 時刻を合わせ直すときも2~3の操作をします。
- ・ バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

## 1 電源/ATTボタンを押して電源を入れる(HELLOが表示されます)



・ 電源を切るときは、1秒以上押します。(SEE YOU表示のあと電源オフになります)

・ 「ボン」と押したときは、<sup>アッテネーター</sup>ATTになり音量が一時的に下げられ、ATT表示が点滅します。もう一度押すと元の音量に戻ります

## 2 SELボタンを2秒以上押し続けて「CLOCK H」を表示させる

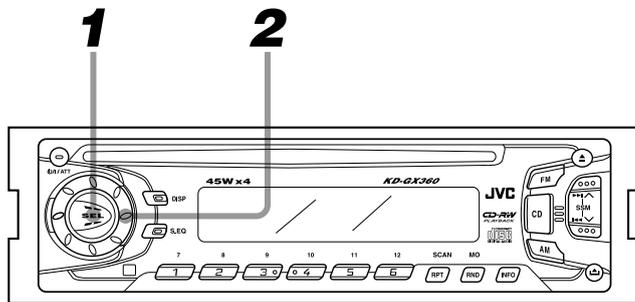


・ 2秒以上押し。

→ CLOCK H

・ 「CLOCK H」以外の表示が出たときは、▶▶I(またはI◀◀)ボタンを「ボン・ボン」と押し続けて選びます。

# 音量・音質の調節



## ＜お知らせ＞

- ・フェーダー調節は4スピーカー接続のときのみ調節してください。

## 1 SELボタンを押して調節したいモードを選ぶ



・「ボン」と押す

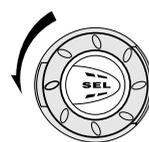
・「ボン・ボン」と押すごとに表示窓に

BAS → TRE → FAD → BAL  
 ← VOL ← LOUD ←

と変わります。ただしVOL(音量)調節のみの場合、この操作は、必要ありません。直接回転ボリュームで調節できます。

## 2 回転ボリュームを回して音量・音質を調節する

・調節したレベルが表示窓に表示されます。



VOL (音量)	音量が下がる	音量が上がる
BAS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TRE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FAD (フェーダー)	フロント出力が下がる	リア出力が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
LOUD (ラウドネス)	ラウドネス「オフ」	ラウドネス「オン」

# 音量・音質の調節(つづき)

## ●音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
VOL(音量)	15	00~50
BAS(低音)	00(フラット)	-06~+06
TRE(高音)	00(フラット)	-06~+06
FAD(フェーダー)	00(センター)	リア フロント R06~F06
BAL(バランス)	00(センター)	レフト ライト L06~R06
LOUD(ラウドネス)	ラウドネス「オフ」	オン/オフ

・調節が終わってから5秒後に、表示窓は前のソース(音源)表示に戻ります。

## ●ラウドネスコントロールについて

ラウドネスを「オン」に設定すると、表示窓に**LOUD**が表示されません。

小音量時の低音、高音が増強され聞きやすくなります。

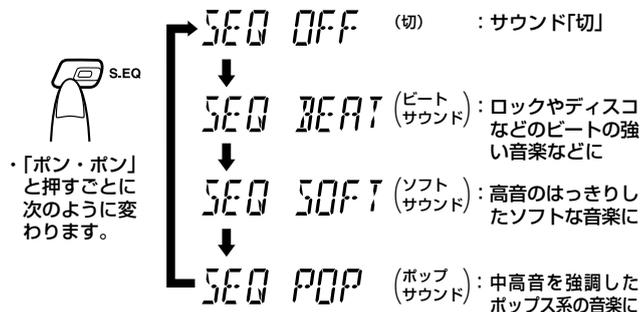
## ●音量調節について

CDの演奏は、無音状態での雑音ほとんどありません。

気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げてください。演奏がスタートしてから適度な音量に合わせてください。

## S.EQボタンの使いかた

S.EQ(シンプルコライザー)を使うと、お聞きになる音楽に合わせて音質が自由に選べます。



## ＜お知らせ＞

### ●リモコンで操作するとき



SOUNDボタンを使います。

### ●S.EQ LINK機能について

S.EQ LINKとは、ビート、ソフトおよびポップサウンドの音質を各ソース(音源)ごとにメモリーしておける機能のことです。

お買い上げ時は「LINK OFF」になっておりますので、S.EQ LINKを「LINK ON」に設定してください(⇒10ページ参照)。その後、好みの音質に調節しメモリーしてください。ソース(音源)を変えるごとに、違った雰囲気サウンドが楽しめます。

## S.EQ LINK機能を「ON」にする

各ソース(音源)ごとにお好みの音質にしたいときは、S.EQ LINKを「ON」にします。

### 1 SELボタンを2秒以上押す

### 2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを「ポン・ポン」と押し て「S EQ LINK」を選ぶ

### 3 回転ボリュームを右方向に回して「LINK ON」 にする



・左方向に回すと  
「LINK OFF」に  
戻せます。

・ソース(音源)ごとにお好みのサウンドに  
設定できます。  
(お買い上げ時は「LINK OFF」です)

### 4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

## S.EQのメモリー内容を変える

ビート、ソフトおよびポップサウンドは、お好みの音質に調節しメモリーできます。ラウドネスの「オン/オフ」も一緒にメモリーできます。

### 1 ソース(音源)を選ぶ

・ラジオまたはCDを選びます。  
ただし、「LINK OFF」のときは、必要ありません。

### 2 S.EQボタンを押してサウンドを選ぶ

・BEAT、POPまたはSOFTのいずれかを選びます。

### 3 SELボタンを押して「BAS」または「TRE」を選ぶ

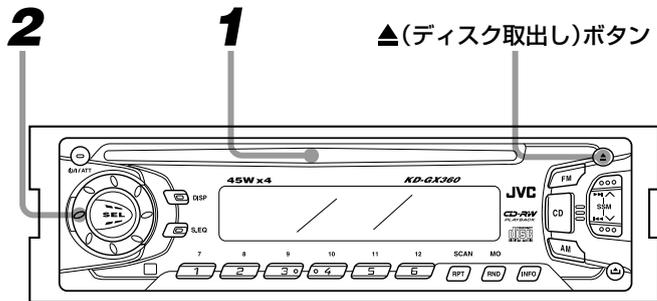
・調節したレベルが表示窓に表示されます。

### 4 回転ボリュームで音質(BASまたはTRE)を調 節する

・ソース(音源)に合わせたサウンドが自動でメモリーされます。  
・ラウドネスを「オン/オフ」するときは、SELボタン→回転ボ  
リュームを使います。

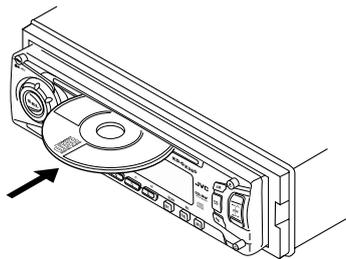
# CDを聞く

— 番号順に操作します。 —



## ● 8センチCDの入れかた

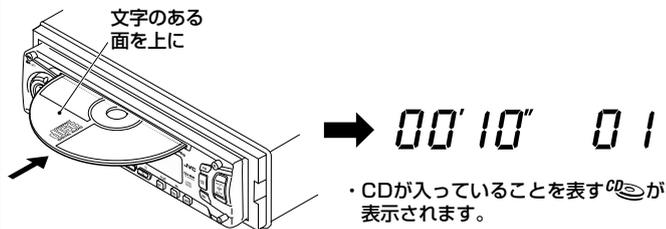
8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れます。



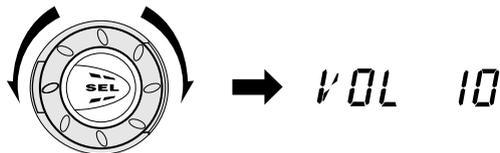
## ● CDを入れると…

ソース(音源)は、自動的に「CD」になり演奏がスタートします。またCD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。

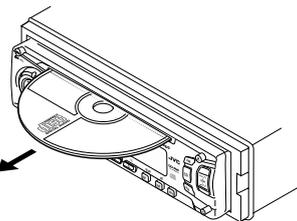
## 1 CDを入れる (電源が入り、演奏がスタートします)



## 2 回転ボリュームで音量を調節する



- CDを取り出すときは、▲(ディスク取出し)ボタンを押します。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。CDが出てきたのち電源が切れます。  
(取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動的に中に引き込まれます)



## <お知らせ>

- 文字のある面に  または 、 のいずれかのマークが入っている、CDをお使いください。

## CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置しないでください。
- MP3には対応していません。

## 《お知らせ》

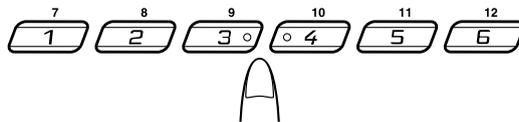
- CDを他の人が取り出せないようにする(盗難防止)



- 「EJECT」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「EJECT」が表示され、CDが出てきます。

## ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは…

聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。

例：2曲目のとき



- 7～12曲目を聞くときは…

聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。

例：10曲目のとき

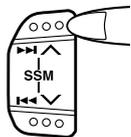


- 13曲目以上は、演奏中に▶▶▶ボタンを「ポン・ポン」と押して聞きたい曲番号を選びます。➡②ページ「スキップ演奏」参照

# CDを聞く(つづき)

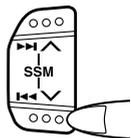
## スキップ演奏(曲の頭出し)

### ●演奏中に次の曲を聞く



- ▶▶ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まりません。

### ●演奏中に前の曲を聞く

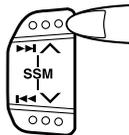


- ◀◀ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

## サーチ演奏(早送り・早戻し)

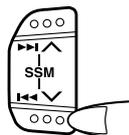
- 演奏中のCDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

### ●早送り



▶▶ボタンを押し続ける。

### ●早戻し



◀◀ボタンを押し続ける。

サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。

指を離すと普通の演奏に戻ります。

## 1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



もう一度押すと、解除されます。



9曲目

## ランダム演奏

演奏中のCDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



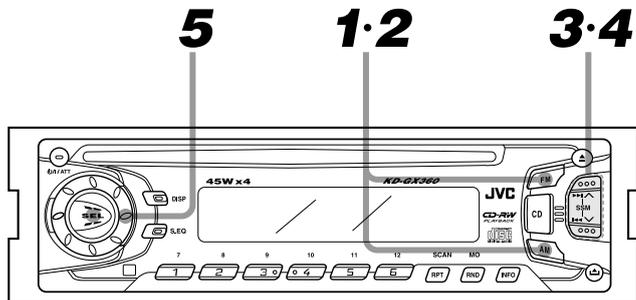
もう一度押すと、解除されます。



# ラジオを聞く

— 番号順に操作します。 —

**マニュアル選局** ……電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときなどに使います。



## ● マニュアル選局のモードは…

選局の操作から 5 秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(➡26 ページ参照)のモードになります。

**1** FMまたはAMボタンでソース(音源)を「ラジオ」にする➡電源が入ります

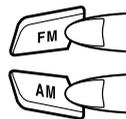


・電源が入ると自動的に前の放送局が受信できます。



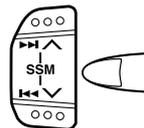
・表示窓にバンドと周波数が表示されます。お買い上げ時は、FM1またはAM1が表示されます。

**2** FM/AMボタンでバンドを選ぶ



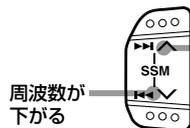
・押すごとに FM 1 ↔ FM 2 または AM 1 ↔ AM 2 と変わります。  
・AM放送はモノラル受信です。

**3** 選局ボタン(∧または∨)を1秒以上押してマニュアル選局のモードにする



・選局ボタン(∧または∨)を1秒以上押して表示窓に「SEL」を点滅させます。

**4** 選局ボタン(∧または∨)で放送局に合わせる



周波数が下がる

周波数が上がる

・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

**5** 回転ボリュームで音量を調節する



# ラジオを聞く(つづき) — 番号順に操作します。 —

## SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

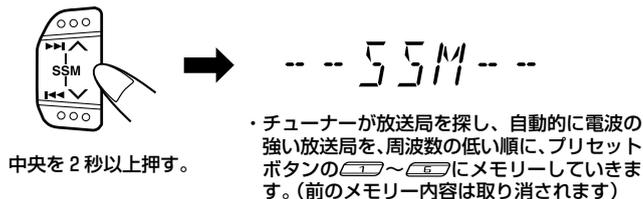
チューナーが自動的に電波の強いFM放送の放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。AM放送はできません。旅行先などで放送局を探すときに便利です。

### ●操作例：FM1にメモリーするとき

#### 1 FMボタンでバンドを選ぶ(FM1にする)



#### 2 選局ボタンのへと∨の中央を2秒以上押す



#### 3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

- ・プリセットボタン(1)～(6)を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

## モノラルMOボタンの使いかた



FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、このボタンで切換えます。表示窓に「MO」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。「MO」が表示され続けます。電波状態が良好になったら「ST」表示に戻してお使いください。

## スキャン選局



聞きたい放送局を探すとき使います。SCANボタンを押すと、自動的に周波数が高い方に移動しながら放送局を探します。放送を受信するごとに周波数が点滅し、約5秒間モニターできます。聞きたい放送局のところでもう一度SCANボタンを押すと、その放送局を継続して聞くことができます。

## アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**オートアンテナ**コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を「ラジオ」にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。「CD」にソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。(オートアンテナ)の最大コントロール電流は250mAです)

## プリセット選局

本機は、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な放送局の呼び出しができます。

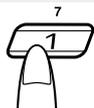
- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタンにメモリーするには…

**1** FMボタンで「FM1」を選ぶ



**2** 選局ボタン(▲または▼)で希望の放送局に合わせる

**3** プリセットボタンの「」を2秒以上押す



81.3



プリセットボタンと同じチャンネル数字が点滅するとメモリーされます。

- FM (FM1 × 6局、FM2 × 6局)、AM (AM1 × 6局、AM2 × 6局)の24局がメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。

AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

### ご注意

- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

## シーク選局 (自動選局)

「M」が表示窓に表示されていないときは、選局ボタン(▲または▼)を「ポン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。これをシーク選局(自動選局)といいます。

選局ボタン(▲または▼)を「ポン」と押すと表示窓の周波数表示が変化し、放送局が見つかったら自動停止します。

希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

## 道路交通情報を聞く



高速道路などの特定地域では、AM1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。

聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1,620kHzが受信できます。

INFO → 1620 PO

- INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合のみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。
- 受信周波数表示中にDISPボタンを押すと、時計表示に変わります。

# レベルメーターの表示切換え

レベルメーターの表示を変えるには

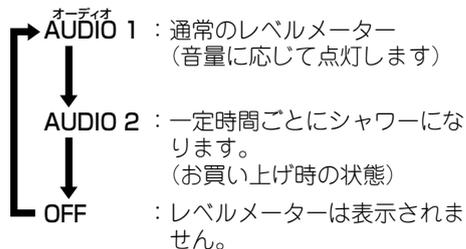
**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ▶▶| (または|◀◀) ボタンを「ボン・ボン」と押し  
て「LEVEL」を選ぶ

**3** 回転ボリュームを右方向に回してメーター表示  
を選ぶ



・左方向に回すと  
逆を選べます。



**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

# コントロールパネルの着脱

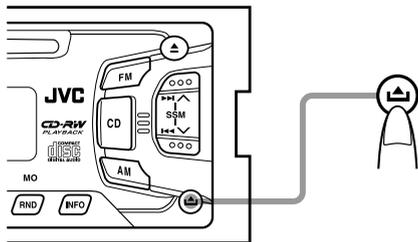
## コントロールパネルを外すには

- 1 電源(電源)/ATTボタンを1秒以上押し電源を切る

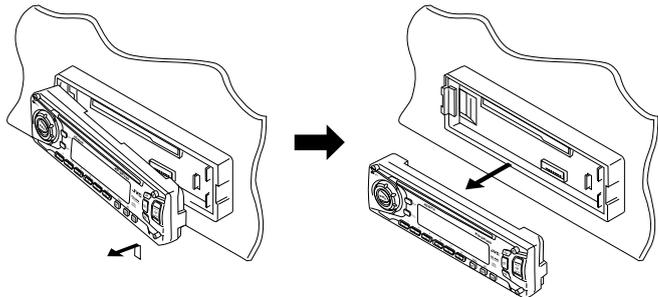


1秒以上押し

- 2 コントロールパネル取り出しボタン(▲)を押す

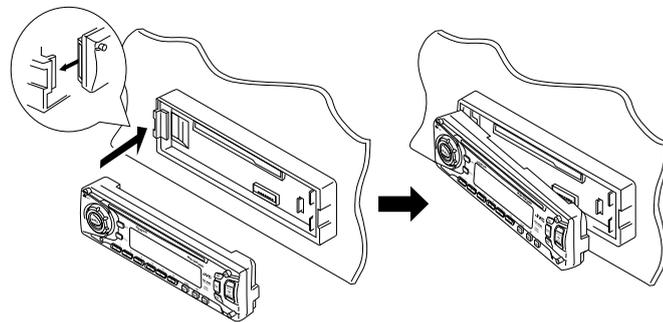


- 3 前に押し出されたコントロールパネルを外す

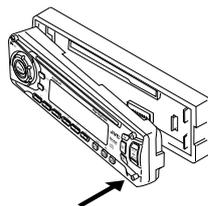


## 外したコントロールパネルを元に戻すには

- 1 コントロールパネルの左側を本体に合わせていれる



- 2 コントロールパネルの右側を「カチッ」と音がするまで押す



# 故障かな？と思う前に

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。 (EJECTが表示されてもCDの取り出し) ができない	・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・ <b>SEL</b> ボタンを押したまま <b>⏻/I</b> (電源) / <b>ATT</b> ボタンを同時に2秒以上押す。 <b>CD</b> が出てきますので落とさないよう、ご注意ください。 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)
▲(ディスク取出し)ボタンを押してもEJECTが表示されず、CDの取り出しができない。	・ 盗難防止状態になっている。 → <a href="#">24</a> ページ参照	・ <b>CD</b> ボタンを押したまま <b>▲</b> (ディスク取出し) ボタンを同時に2秒以上押す。「 <b>EJECT</b> 」が表示され <b>CD</b> が出てきます。
演奏が始まらない。	・ <b>CD</b> が裏返しに入っている。 ( <b>NO DISC</b> が表示されます)	・ 文字のある面が上になるように正しく入れる。
CDの演奏音が途切れる。	・ <b>CD</b> が汚れている。	・ 柔らかい乾いた布で演奏面を清掃する。
AM放送がうまく受信できない。	・ オートアンテナのコントロール電流が250mAを超えている。	・ <b>リモート出力</b> コードをオートアンテナに接続するように変更する。
	・ 車両のオートアンテナコントロール端子(またはアンテナアンプ電源端子)に <b>オートアンテナコード</b> が接続されていない。	・ <b>オートアンテナ</b> コードを接続する。

# 保証書とアフターサービス

## ●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡しますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

## ●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

## ●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

## ●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

## 修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、再度お調べください。
2. それでも正しく動作しないときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

---

・ JVC CDレシーバー : KD-GX360  
: KD-GX360-A (ブルー)  
: KD-GX360-G (グリーン)  
: KD-GX360-P (ピンク)  
: KD-GX360-W (ホワイト)

---

・ お名前とおところ

---

・ 電話番号

---

・ 故障の状態(詳しく) : 例 CDの演奏音が出ない。

## 別売りアクセサリ

・ クリーニングキット : CK-25 (CD用)  
・ RCA PIN コード : CN-505E (長さ0.5m)  
: CN-510E (長さ1m)  
: CN-520E (長さ2m)  
・ リモコン : RM-RK41

# 主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

## CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り  
(半導体レーザー、 $\lambda=780\text{nm}$ 使用)
- エラー訂正方式：クロスインターリーブリードソロモンコード
- チャンネル数：2チャンネル
- 周波数特性：5 Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ：93dB
- S N 比：95dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

## オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント/リア 45W+45W(4 $\Omega$ 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 $\Omega$ (4 $\Omega$ ~8 $\Omega$ で使用可能)
- 出力端子：RCA端子(1系統)、2V/1k $\Omega$   
スピーカーコード(2系統、ギボシ型)

## チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1  
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz~90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz~1,629kHz
- 実用感度：27dB $\mu$ (22.4 $\mu$ V)

## 電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V~16Vで使用可能)  
マイナスアース車用
- 時刻表示：12時間表示法
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行171mm
- 質量：約1.3kg(付属品含まず)

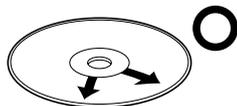
## 付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター)…………… 1
- ・ネジ(M5×6mm)…………… 4
- ・皿ネジ(M5×6mm)…………… 4

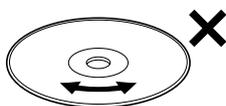
# お手入れ

## CD(コンパクトディスク)のお手入れ

本機に入れる前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。  
必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

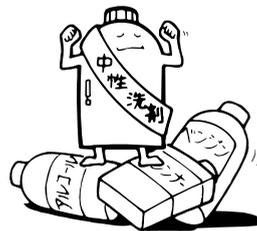
- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

## 本機の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。  
汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

### ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



## ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに  
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談  
カーオーディオお客様相談センター

別紙の  
「JVCカーオーディオ製品  
サービス窓口案内」を  
ご覧ください。

☎ (027)252-5145  
FAX (027)254-8927 (ダイヤルイン)  
受付時間 10:00~18:00  
(土、日、祝日、当社休日を除く)  
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

# JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

## 日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ ダイヤルイン (027)254-8926